

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに



継続は力なり！

校長 玉川 徹

1ヶ月前の6月2日全校朝会で「ちょっと厳しいこと話してしまったかな～」と終わった後に気になっていました（「いじめは絶対ゆるさない」の話です）。月に1回しか子どもたちの前で話す機会がないので、子どもたちをできるだけ誉めて話を終わりたいと思っているので気にしていました。

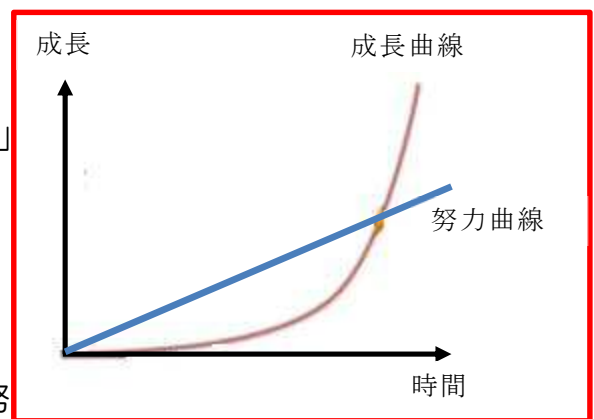
しかし、泰平小学校の児童は「いじめ0」に積極的に取り組んでくれています。児童会、代表委員会の活躍もあります。教職員もチームとなって各学級だけでなく学校生活で子どもたちの指導にあたっています。そして、子どもたちが「いじめはよくない！」とそれぞれが心にとめてくれのをうれしく思うのです。ずっと続くといいなあと思っています。思っているだけではダメですね。教育ですから継続していかないと！

継続することは力になります。大人はそれを知っています。しかし子どもはそれがよくわかっていないかもしれません。だから、学校は子どもたちにたくさんの成功体験をさせ、「力」がついたことを「実感」させていかなければならないと考えています。

100日、100回、100ページ・・・100を超えた時から少しずつ変化を実感できると言われています。よく「100の努力」と言います。頑張っている事・努力は目に見えません。頑張っているのだけれどもその成果がなかなか現れません。頑張っているんだけど周りの人は見てくれています。続けることは忍耐でもあるのです。

成長曲線というものがあります。

努力はずっと続けているまっすぐな右肩上がりの線です。成長はゆったりとした右肩上がりの線です。人によっては真横に水平な線かもしれません。努力している期間が長いと「やってもだめか」と思いあきらめてしまうことがあると思います。一日努力すると一日分の上達、成長が現れるわけではないのです。しかし、ある時を境に「ぐん」と成長曲線が伸びます。その時が『100』と言われているのです。自転車の練習でなかなか乗れずにいたのにある日サッと乗れるようになる。こんな経験したことあるのではないのでしょうか。「努力は段階的に重ねなければならないが、成長は加速度的に訪れるということ」です。「100回叩けば突破できる壁があっても、99回であきらめてしまう人がいる。その人は今までの努力やかけてきた時間が無駄に終わってしまう。」という話があります。学校でも子どもたちの努力や少しの成長も見逃さずに子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。



始業式に子どもたちに「何事にも『続けること』と『ていねいに』」について話をしました。漢字の練習、縄跳びの練習、毎日の元気な挨拶、続けることができる子はすくすく伸びていきますよと・・・。

平成28年度がスタート（4月8日）して100日目は7月16日です。さて、1学期の終わりに『やった！〇〇ができるようになった！』というものがあるのでしょうか。